

(議案第 4 号)

理 事 長 所 信

一般社団法人大曲青年会議所
2024 年度理事長 藤田 靖弘

1 『はじめに』

2 青年会議所は、青年としての英知と勇氣と情熱をもって明るい豊かな社会を築き上げる
3 べく、活動・運動をしております。その方針の上で、時代の変化と共に変わる地域の課題や
4 ニーズに対応し続け、現在の大曲青年会議所があります。今までそれができたのは、地域の
5 皆様の支え、そして先輩諸賢が確かな歴史を紡がれてこられた賜物に他なりません。今日、
6 こうして仲間たちと共に活動できていることに、感謝を申し上げます。

7 今、世界は国家間の紛争等により情勢が不安定になっています。その一方で、AI や IoT を
8 始めとしたデジタル技術の飛躍的な発展等、社会の常識は大きく変化しており、時代は次の
9 ステージに突入したと言えるでしょう。今まさに、誰もが想像しなかった新しい世界が開か
10 れ、私たちはそこで新たな問題へ直面し、その対応を迫られています。

11 しかし、この想像できない世界、新たな問題というものはいつの時代もあったはずです。大曲青年会議所の先輩諸賢は、その時々
12 の新たな課題に向き合い、情熱をもって明るい豊かな社会の為に
13 ご尽力されてきました。我々にもそれができるはず
14 です。先輩諸賢の意思を引継ぎ、想像力を最大限発揮し、時代と地域のニーズを的確に捉え、魅力あふれる持続可能な地
15 域を築きあげます。

16

17 『私自身』

18 2016 年に大曲青年会議所へ入会した私は最初の 4 年間で【この組織の活動はやればやる
19 程楽しくなり、楽しくなれば楽しくなる程身につくものが多くなる】といった感覚を得るこ
20 とができました。

21 しかし 2020 年、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い自社の業種である介護業界は大打撃
22 を受け、同時に利用者様の命を守るべく、他者との接触を断つ方向へと舵を切りました。そ
23 こからの期間は、私は大曲青年会議所で理事を務めながらも十分な活動ができずに、もどか
24 しく、悔しい日々の連続でした。積極性を出せない私の姿勢が、仲間のモチベーションを削
25 いでいる感覚が生まれ、申し訳ない気持ちが強くなりました。何のために会員で居続けるの
26 か疑問に感じ始め、自問自答を繰り返す日々が続きました。しかし、そんな中でも変わらず
27 接してくれる仲間たちや、絶対に辞めるなと励ましてくれる先輩方に支えていただき、コロ
28 ナ禍を乗り越えることができました。

29 この数年で大きく成長した仲間たちに早く追いつきたい、追い抜きたいという焦りはあり
30 ます。その反面、コロナ禍の葛藤があったからこそ自分の中に強く根付いた礎が、自身の情

31 熱を焚き付けてくるのを感じています。やればやる程楽しくなるという感覚は私にとって
32 一種のゾーンのようなものです。それをまた強く感じたい、仲間たちにももっと感じてもら
33 いたい。誰かが新しい挑戦に躊躇するとき、背中を思い切り押してあげたい。その気持ちは
34 昂るばかりです。

35

36 『地域のために』

37 我々が住み暮らすこの地域には「大曲の花火」を代表とした観光資源、「田沢湖高原」を
38 始めとする県内有数の自然、「後三年合戦」の地であった等の重要な歴史といった様々な魅
39 力があります。しかし、SNS 等の情報は都会の魅力で溢れ、自らの住み暮らす地域に目を
40 向ける機会は減少しております。

41 その問題に対し、地域の魅力に多くの人々の注目を集める必要があります。我々が行う活動
42 や運動により地域の方々が「こんな魅力があったのか」「もっと他にも魅力がありそうだから
43 調べてみよう」といった想像力を掻き立てることができる事業を展開してまいります。

44

45 『次代を担う青少年へ』

46 近年、青少年が育っていく環境は多くの情報に溢れています。画面越しに知り、学ぶ機会
47 が増え、快適性が上がる一方で他者とのコミュニケーション機会が減少している問題もあ
48 ります。他者との関わりの中でしか得られないものがあります。子供たちは大きな可能性を
49 秘めています。その子供たちが、いつもの学校教育や画面越しとは違った環境下で学ぶこと
50 で、自身の可能性に気が付き自信を深め、将来この地域でそれを発揮できる未来を想像する
51 時間を創出してまいります。

52

53 『同志のために』

54 会員拡大が喫緊の課題であることは明白ですが、そのためには我々の想像力を発揮する
55 必要があります。この地域に住み暮らす方々は、一人ひとり違った状況で生活されています。
56 相手が今なにを求めているのかを的確に捉え、相手によりアプローチを変え、青年会議所の
57 魅力を伝えます。その想像力をもった我々の優しい姿こそ、相手にとっての一番の魅力であ
58 ると信じています。

59 また、新入会員に対しては青年会議所会員としての資質を高めるとともに、青年会議所活
60 動・運動の意味の更なる理解を促進し、さらに定例会・各種事業への参加促進を図りつつ交
61 流を企画し、想像力豊かな次代のリーダーを育成します。

62

63 『滲み出る魅力をもって』

64 情報発信の方法が多様化する現代において、発信方法の選択は非常に重要な意味をもち
65 ます。我々の魅力的な活動・運動が他に埋もれてしまわぬよう、想像力を発揮しその時々
66 の最適な媒体を使用し、我々の活動・運動を発信してまいります。また、発信する魅力はその

67 場のものだけではなく、我々から滲み出る内面の魅力と共に発信することで強い説得力を
68 もちます。発信していない時の姿、取り組み方こそがその魅力を作り上げます。組織として、
69 人としてしっかりとした土台を積み上げながら、活動してまいります。

70

71 『中和国際青年商會の友と』

72 本年度は中和国際青年商會との姉妹締結から 35 周年を迎えます。2019 年以降、コロナ禍
73 で制限されていた往来の交流が 4 年の年月を経て昨年、再び交流することが叶いました。
74 そこで初めて交流するメンバーも多く、新しい学びを得ることができました。本年度はこの
75 友好の輪をさらに強く大きくし、互いの人と地域のより平和的・友好的な発展に繋げます。

76

77 『結びに』

78 現状、先輩諸賢をはじめ、多くの方々より会員減少へのご心配をいただいております。現
79 役会員を想ってくださる気持ちには感謝しかございません。そのお気持ちにお応えすべく
80 会員拡大に全力を尽くします。しかし、私は独自の感覚があります。会員が減ってきていて
81 も、悲観的なことばかりではありません。大曲青年会議所は、初代理事長が立ち上げられた
82 当時、情熱のある会員に溢れ最盛期だったのかもしれませんが。若しくは 100 人以上在籍し
83 ていた当時が、賑やかで最盛期だったのかもしれませんが。しかし、現在 23 名という規模で、
84 ここまで強い絆で団結した会員会議所を私は他に知りません。ここまで出席率が高く、皆が
85 楽しく参加している、こんな大曲青年会議所の状態を、在籍 8 年間で私はかつて体験したこ
86 とがありません。即ち、私からすれば今が最盛期と言えるのです。

87 今を創り上げてきた仲間が周りにいます。その仲間たちと最盛期を更新する 1 年にした
88 い。それを実現するためにも、地域への効果的な事業展開、新たな仲間との出会い、組織の
89 繁栄を得たいと考えます。私 1 人の力では到底及ぶことのできない到達点です。しかし、仲
90 間がいるから実現ができます。2024 年度を振り返った時、誰もが誇りに思える 1 年となる
91 よう、全会員で新たな最盛期を創り上げる事をお誓いいたします。

92

93 スローガン

94

全開！想像力

95

迷ったら勇気のいる方へ その一歩が全てを変える

96

97

98 **基本理念**

99 他を想い、本質を射抜き、誰もが優しくなれる地域を築く。

100

101

102 **基本方針**

103 1 地域の本質的な課題解決に向けた取り組みを展開する。

104 2 青少年が愛する地域社会を構築する。

105 3 会員の資質を向上させ、組織力を向上する。

106 4 全会員の優しさを広告塔とし、会員を拡大する。

107 5 効率的、効果的な情報発信にて、組織の存在感を高める。